

ご意見と事務局の考え

意見 17 (平成 16 年 3 月 受付)

(埼玉県在住)

長岡市も分権型を唱えていれば以下の制度を導入すべきと思います。見附・小千谷・栃尾なども将来参加しやすくなります。政令指定都市を目指す新潟市や、新幹線開通を控えた上越市と対照的に長岡の衰えが危惧されます。

(以下新聞社のWEBよりコピー)

合併時に限り、市町村の中に「合併特別区」を5年以内だけ設置できる制度を創設。合併後、人口が中心部に偏ったり、市町村の面積が広すぎて住民の意見が行政に届かなくなったりするといった懸念を解消するため。「合併特別区」は旧市町村の区域、または複数の旧市町村を合わせた区域を単位とする。法人格を持ち、土地、施設などを所有して管理できる。市町村長が選任する特別職の区長が置かれ、地域振興や福祉、清掃などについて、ある程度独自の判断で事務ができる。区長が地域の重要事項を実施する時は「合併特別区協議会」の意見聴取が必要。協議会の構成員は市町村長が区域の有権者から選任する。一方、地方自治法改正案では、合併しない場合でも、市町村が小中学校の学区など一定の区域を単位に「地域自治区」を設置できる。「合併特別区」と違って法人格は持たず、長も一般・Eの事務所長になる。自治体の長が住民から選んで構成する「地域協議会」の意見をとりまとめ、地域福祉や窓口業務などを分担する。合併特別法の改正案では、05年3月までに合併した自治体も、「合併特別区」を5年間設置できるようにする。

事務局の考え

ご意見の内容は、現在国会審議中の合併関連の法案に関する事項ですが、当協議会では、協定項目21「地域自治の取扱い」で協議することとしております。

協議にあたっては、任意合併協議会で決めた「長岡方式の地域自治」(リンク)が基本となります。法律案では、「合併特別区」が担当できる業務や区長の権限は限られていることなどを考えると、やはり「長岡方式の地域自治」の方が、長岡地域にはふさわしいと思います。

地域自治で大事なことは、今後住民の声が行政に届かなくなっていくという不安を解消することだけでなく、地域の皆さまと行政が一体となってまちづくりを進めることができるシステムを作ることです。

いずれにしろ、今後長岡地域の皆さまが、全国に誇れるような「地域自治」を検討していきます。

意見 16 (平成 16 年 3 月 受付)

(長岡市在住)

長岡川西地区在住の者です。合併に向けて動き出しましたが、モノレールなどの新交通機関は考えてないのでしょうか？川西地区、三島町また与板町方面などアクセスが悪すぎます。中越地区発展の合併と言うのであれば、長岡版山手線構想をたちあげて欲しいです。栃尾から見附、与板、関原、来迎寺、長岡というふうに。円を描く交通手段。1回300円くらいで。病院、買い物、残業などでも夜11時くらいまでは公共交通機関で。バラバラだった地域意識を変えるにはまず交通手段です。長岡独自で、他市町村が長岡に入りたいとなるように。市長殿へ。

事務局の考え

ご意見ありがとうございました。

ご意見のとおり、モノレールなどが整備されれば日常生活が格段に便利になるだけでなく、新市のイメージアップにもつながるものと思われます。

また、新市の目指すべき姿を示した「長岡地域新市将来構想」においても、モノレールなどの新交通システムを整備することで住み良い都市を作ろうという一つの夢が語られています。

ただ、実際にモノレールを整備し、運営するとなると莫大な費用が必要となり、人口規模などを考慮すると現時点では費用に対する効果が見込まれないものと予想されます。今後、人口規模の拡大に併せてモノレールなどの新交通システムに対する需要が増大し、整備・運営の見通しが立つ状況になった場合には、実際に長岡地域にモノレールが走るようになるかもしれません。

なお、合併協議会では合併後 10 年間にける新市のまちづくりの方針となる「新市建設計画」を策定しているところであり、新市の一体感を醸成するためにはどういった道路交通網が必要なのか、新市が発展していくために必要な施策は何か、といったことなどを検討しております。検討状況等については随時皆さまにお知らせしていく予定ですので、よろしくお願いいたします。

意見 15 (平成 16 年 2 月受付)

(山古志村在住)

美しい自然と素朴で温かい人々を破壊することのないような政策を望みます。今現在でさえ、近隣地区からの観光目的、(春には不法な山菜採り)などで、ごみの不法投棄が多々見受けられます。そのような事の無いような厳しい取り決めでの合併でしたらいたしかた無いと考えます。決して市街地区の産業廃棄物及び一般ごみの処分場所にしないで頂きたい。強く望みます。

事務局の考え

任意協議会の「新市将来構想」において、山古志村の美しい自然と素朴で温かい人々については、活用したい地域資源として高い評価と多くの共感を得ています。今後法定協議会でも、新市全体の地域資源として新市建設計画や各種事務事業のなかで、より具体的な議論をしていきたいと考えています。

また、ごみの不法投棄についても、山古志地域を新市の観光エリアとして発展させていくには重要な問題ですので、来る側のマナーや迎える側の意識の改革など、住民の皆様と議論しながら解決していかねばなりません。

今後も新しい市のなかで「やまこし地域のファン」が増えるよう、地域の個性を尊重したまちづくりをすすめていきたいと考えています。